

会 議 録

会議の名称	令和3年度（2021年度）第1回豊中市スポーツ推進審議会		
開催日時	令和3年（2021年）5月 13日（木）		
開催場所	—	公開の可否	(可) 不可・一部不可
事務局	都市活力部 スポーツ振興課	傍聴者数	—
公開しなかった理由			
出席者	委員	浦委員 児島委員 榊委員 須原委員 田島委員 野老委員 永峰委員 松木委員 吉倉委員 （五十音順）	
	事務局	上原都市活力部次長 荒谷企画係長 松下主査	
	その他		
議題	<p>案件1 令和3年度（2021年度）社会体育団体補助金（案）について</p> <p>案件2 豊中市スポーツ推進計画の期間延長について</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議により開催</p> <p>※傍聴については、会議録の公開をもって傍聴に代えることとする。</p>		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

<本審議会の開催方法について>

令和3年度（2021年度）第1回豊中市スポーツ推進審議会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前に議案を審議会委員に配布したうえで、書面による会議とした。

<傍聴について>

本審議会は、書面会議のため、委員の皆様から回答いただく回答様式のとりまとめおよびいただいた意見等を踏まえ、作成した会議録を公開することにより、傍聴に代えることとする。

<定足数について>

定足数について、審議会委員10名の内9名の委員が出席し、豊中市スポーツ推進審議会規則第4条第2項による会議開催要件である委員の過半数の出席を充足しているため、本審議会が有効に成立していることを報告する。

<配付資料>

資料① 令和3年度（2021年度）社会体育団体補助金（案）について

資料② 豊中市スポーツ推進計画の期間延長について

資料③ 令和2年度（2020年度）第3回豊中市スポーツ推進審議会会議録

<案件1>

令和3年度（2021年度）社会体育団体補助金（案）について

<意見・質問>

【委員】

豊中市体育連盟市費補助金及び、加盟団体補助事業分配金（予算）は、前年度と同額になっている。ただ、分配金（予算）は、前年度と比較し、グラウンドゴルフ協会・市民ハイキングの会・女性バドミントン協会・フィットネス協会の4団体に其々9,625円加算されている。これは、R2年度予算に計上されていた2団体（民踊協会・フリーテニス協会）がR3年度に予算計上されていないからだと理解する。各団体への予算配分については、豊中市体育連盟に一任されているので、意見を述べる立場にないが、年度ごとの団体の増減により、次年度以降も一部の団体に予算の変動が起こりうる。今回は4団体の増額となっているが、対象団体が増えれば減額される団体も出る。

そこで質問であるが、分配金の予算額（¥884,500）はどのようにして決めているのか。過去からの変遷についても伺いたい。

【事務局回答】

分配金の予算額については、加盟団体の活動内容や、団体数の増減に関わらず、市からは一定額の補助となっており、その配分は体育連盟に一任している。

過去に全庁的に予算シーリングによる補助金の減額はあったが、近年は現行金額が続いて

いる。

補助金については、平成 29 年度までは、豊中市民体育振興協議会へ一括して交付し、同協議会に加盟していた豊中市体育連盟、豊中市スポーツ推進委員協議会、豊中市スポーツ少年団への配分を一任していたが、透明性に欠けるとの意見があったため、豊中市民体育振興協議会は平成 29 年 4 月末をもって解散し、豊中市体育連盟・豊中市スポーツ少年団には直接補助金を交付することとなった。

平成 30 年度からの体育連盟への補助金額については、豊中市民体育振興協議会解散時の分配額を継承している。その分配額を、豊中市民体育振興協議会がどのようにして決められたのかは、市で把握できていない。

また、豊中市スポーツ推進委員協議会は市の嘱託職員で構成する協議会であるため、補助金の交付ではなく市が直接執行している。(スポーツ振興会については、変更なし。)

【委員】

緊急事態宣言中、または直後の開催予定の大会も多い。可能な限り、現時点での開催状況、対応予定を開示いただきたい。

【事務局回答】

今年度の体育連盟関係の大会

開催

- 4/10 卓球協会杯
- 4/11 バドミントン会長杯
6 人制バレー春季大会
- 4/18 青少年剣道大会

中止

- 4/24 春季交歓ミニバス大会
- 4/25 9 人制バレーボール、青少年剣道大会 5/2 市民空手道選手権大会
- 5/9 少年バレーボール大会

【委員】

コロナ禍において、できる限りの大会実施を目指して通常の年よりも必要となる物品・対応策・要望など各団体からあがってきていないか。情報集約状況を伺いたい。

【事務局回答】

大会の実施にあたっては、豊中市の新型コロナウイルス感染症拡大防止イベント等実施ガイドライン、ならびに、各競技団体が定めるガイドラインに沿って、各競技団体においてこれらに必要な物品を用意していただき対応していただくこととなるが、現在のところ各競技団体からの要望はない。

【委員】

各団体および多くの体育連盟の大会実施におけるコロナ対応策、大会開催有無の基準はどのように考えているか。(あるいはお困りか。) 情報収集と、市としての基準の提示、団体との共有も必要と考える。

【事務局回答】

大会開催可否の基準は、豊中市の新型コロナウイルス感染症拡大防止イベント等実施ガイドライン、ならびに各競技団体が定めるガイドラインに沿った運用が可能かというところになる。このことについては、昨年体育連盟事務局を通じて各団体に周知しており、また、参加者の意見等もふまえ、各団体で協議のうえ総合的に判断している。

市としては、感染症対策を徹底し、ガイドラインに沿った運用をし、国や府の考え方に沿って、可能な範囲で大会を開催していただけたらと考えている。

【委員】

新型コロナ収束の道が依然として見えない状況の中で、令和3年度(2021年度)社会体育団体補助金(案)について異論はない。

個人的な思いとしては、豊中市が高校スポーツ発祥の地として誇れる「ラグビー」の参加者数、分配金等が少ない状況は残念である。また「アメリカンフットボール」にいたっては(案)に名称すら出てこない状況は残念である。

【事務局回答】

ラグビーは、タグラグビー体験会が補助事業となっている。タグラグビーは子どもがラグビーを始めるきっかけの場である。また、年2回の開催を予定しておりますが、2回目(3月)については、時期的にも参加人数が少なくなる。加えて、豊中の子どものラグビーの活動の場はラグビースクールのみで、他競技のような参加チームがないことから、参加者数が少なくなっていると考えます。

また、ラグビーユニオンは本市と共催実施している市民大会の代替としてラグビーカーニバルを実施し、ラグビーの普及に努めていただいている。

アメリカンフットボールについては、連盟がないため補助金の対象になっていない。

<案件2>

豊中市スポーツ推進計画の期間延長について

<意見・質問>

【委員】

原案に賛成。

【委員】

賛成。異論はない。

【委員】

事務局案は妥当と考える。

<案件以外でスポーツ推進に関するご意見>

【委員】

新型コロナは今後もしばらく常態化すると予想される中で、「with コロナ時代のスポーツ推進の新しいあり方」の検討も必要と考える。例えば、

①3密を避けるという観点から個人のスポーツ（例えばウォーキング）や人と人との距離感が比較的保てる団体スポーツの比重を少し高める。

②各種イベント・○○教室の進め方の見直し。

③各事業主体者の働き方改革に伴い今までのように幅広いテーマ全部には手が行き届かない状況がもしあるならそれも考慮するなど。

それらを踏まえて、場合によっては「豊中市スポーツ推進計画」の内容を今後見直すことも必要と考える。（慎重な検討が必要であるが。）

【事務局回答】

次期スポーツ推進計画を策定する際には、ご意見をいただいたように、新型コロナウイルスの影響を踏まえた内容も検討に入れていきたい。審議会でもご意見をいただきながら、検討し、進めていく。

<回答様式②提出後>

案件 1

令和3年度（2021年度）社会体育団体補助金（案） 審議後の最終案について、

1. 異議なし 9名
2. 異議あり 0名

よって、資料①どおり補助金を交付する。

案件 2

豊中市スポーツ推進計画の期間延長についての審議後の最終案について

1. 異議なし 9名
2. 異議あり 0名

よって、豊中市スポーツ推進計画の計画期間を令和3年度から一年延長し、令和4年度までとする。

<その他のご意見>

【委員】

今後のためにも、事業実施後にどのような形で実施したか？ガイドラインを守るにあたり、

引き続き、現場で感じた改善事項等の情報収集ができればよい。

【事務局】

事業を実施した体育連盟加盟団体に、アンケートを実施するなど、情報収集を行い、必要に応じてガイドラインの更新を検討する。

【委員】

今後更に進む高齢化社会に向けて“健康寿命”を延ばすための施策への注力は特に重要と考える。中でも国民に最も人気の高い軽スポーツである「ウォーキング」が市民に益々定着・拡大して行くための“仕組み作り・仕掛け作り”が重要である。本来自分のペースで個人が自由に行うウォーキングを市民スポーツとして推進・管理して行くのは難しいと考えるが、出来れば豊中市モデルと呼ばれるような新しい“仕組み・仕掛け”が作れば素晴らしい。

また、例えば「おおさか健活マイレージ アスマイル」の一層の普及・有効利用等もウォーキングや健康のモチベーションアップの推進力になり得るものではないかと考える。

【事務局回答】

新型コロナウイルス感染症の影響からも、3密を避けて実施できるウォーキングの推進については、引き続き審議会でもご意見をいただきながら進めていく。